

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	国際機関における事業への参加		担当部局	大臣官房国際課		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	国際課		国際課長 池原 充洋	
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-2 国際協力の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	教育政策上の課題など関連政策の企画立案、評価、改善等に資する。また、加盟国内で共通して取り組むべき課題の解決や教育の質の向上に資すると共に、国内の教育の質の向上を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際機関が開催する会合に参加し、我が国の教育情報の発信及び意見表明を行うと共に、教育政策上の課題などについて情報収集を行う。また、我が国で関連テーマの国際会議を開催するなど国際機関の事業に参加する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	/	11	13
		補正予算	/	/	/	0	/
		繰越し等	/	/	/	0	/
		計	/	/	/	11	13
	執行額	/	/	/	/	/	/
	執行率(%)	/	/	/	/	/	/
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	我が国と国際機関との間で教育政策に関する対話と情報交換を促進し、国際機関への貢献と我が国への成果の普及を図ることが成果目標であり、定量的な数値を示せない。		成果実績 達成度	%	/	/	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	OECD/Japanセミナー等の参加国数・参加者数を活動指標とする。		活動実績 (当初見込み) 国数・人数	/	/	/	32か国・370人 30か国・300人
単位当たりコスト	17,574 (円/人) (H23年度見込み)		算出根拠	単位あたりコスト=23年度のOECD/Japanセミナー等開催に係る執行額(6,502,332円)÷23年度の参加者数(370人)			
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由		
	諸謝金		0.08百万円	0百万円			
	職員旅費		1.6百万円	1.6百万円			
	委員等旅費		2.7百万円	5.0百万円			
	外国人招へい旅費		1.7百万円	1.7百万円			
	庁費		4.9百万円	4.9百万円			
	招へい外国人滞在費		0.2百万円	0.2百万円			
	計		11百万円	13百万円			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>国際機関が開催する会合に参加し、我が国の教育情報の発信・意見表明・情報収集を行うと共に、我が国で国際会議を開催し、国際機関における事業成果の国内での普及を図るため、本事業予算を適切に執行するよう努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、現時点で特段執行面における課題はない。また、定性的ながらも事業の成果目標が立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国際機関における事業への参加

A. 文部科学省 11百万円

諸謝金	0.08百万円
職員旅費	1.6百万円
委員等旅費	2.7百万円
外国人招へい旅費	1.6百万円
庁費	5百万円
招へい外国人滞在費	0.2百万円

} を含む

国際機関への参加の一環として、
教育関係専門家会合等への参加や
我が国における事業研究会の開催
を行う。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	12千円×7人	0.1			
職員旅費	内国旅費、外国旅費	1.6			
委員等旅費	内国旅費、外国旅費	2.7			
外国人招へい旅費	1,173千円×1人 490千円×1人	1.6			
庁費	印刷製本費、会場借料、雑役務費、消耗品費	5			
招へい外国人滞在費	25千円×2人×3日	0.2			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0